

# 福島第一原発事故 損害賠償請求事件 前橋地裁判決

群馬県に避難した住民が国と東電に損害賠償を求めた訴訟の判決で、国と東電の過失が認められました。

弁護団声明によれば (参考資料①)

「司法の観点からも国の規制が不適切であったことを再確認するとともに、それが法的に違法と評価される程度の重大なものであったことを明確にした」ものです。今回はこの判決についての全国紙+αでの社説比較です。

読売新聞

895万部

## 福島避難者判決 争いの長期化が憂慮される

3月20日社説

予見可能性の認定で、**民事と刑事のハードルの高さの差**が如実に表れた。(中略)  
憂慮されるのは、争いの長期化である。(中略)  
全国で提起された同種の集団訴訟は、前橋地裁を含めて28件に上る。  
今回の判決を機に、ADRなどで和解したケースでも、訴訟が提起される可能性は否定できまい。  
**司法判断が新たな争いにつながる事態は避けたい。**

産経新聞

158万部

## 原発避難訴訟 予見判断の混乱危惧する

3月19日社説

検察当局が認めなかった予見や回避の可能性を、裁判所が認定したことになる。  
この「**ねじれ判断**」は、混乱を招かないか。(中略)  
前橋地裁の判断が同種の訴訟や刑事裁判にどのように影響するかは未知数である。  
それぞれ異なった判断が出れば、混乱はさらに深まるだろう。  
(中略)  
未曾有の自然災害に対抗するには、政府や企業、国民が団結するしかない。  
**裁判所の判断のねじれや揺らぎが分断に結びつくことを、何よりも危惧する。**

参考資料

①原子力損害賠償群馬弁護団HP「前橋地裁判決を受けての弁護団声明」  
<http://gunmagenpatsu.bengodan.jp>

②全国紙の販売部数  
読売新聞広告ガイド 販売部数 (2016年7~12月平均)  
<http://adv.yomiuri.co.jp/yomiuri/circulation/national01.html>

③東京アドレップHP 取り扱い媒体一覧 (2015年7~12月)

[http://www.adrep.co.jp/media\\_list/](http://www.adrep.co.jp/media_list/)

④福島民報HP 発行部数 (2014年10月)

<http://www.minpo.jp/advertise/media/index.html>

⑤福島民友HP 福島民友の媒体特性・広告案内 (2014年1~6月平均)

<http://www.minyu-net.com/honsha-annai/koukoku/>

日経

# 原発事故の過失認めた重み

3月18日社説

272万部

従来の司法判断の流れからみれば大きく踏み込んでおり、唐突な印象も否めない。だが、つねに万一の事態を想定し、安全を確保するための備えを尽くすべきだとする裁判所の考えが明確に示されたことの意味は、重い。

毎日

# 原発賠償判決 国に対する重い警告だ

3月18日社説

305万部

原子力政策における国の責任は極めて重い。司法からのそうした警告と受け止めるべきだ。

朝日

# 原発賠償判決 国と東電への警告だ

3月19日社説

641万部

東京電力はもちろん、国の原子力行政に厳しく反省を迫り、自覚を促す判決だ。

東京

# 原発避難者訴訟 国・東電の責任は当然だ

3月18日社説

51万部

原発事故によって平穏に生きる権利を侵された。そう避難者が慰謝料を求めた裁判で前橋地裁判決は国と東京電力の過失を明白に認めた。

福島民報

# 【原発避難賠償判決】 人災認めた意義大きい

3月18日社説

事業者である東電が対策を怠り、規制権限のある国が責務を果たさなかったとして、裁判所が原発事故を人災と認めた意義は大きい。県民全てが被災者とも言える本県にとって当然と感じる判決だ。

25万部

福島民友

# 原発避難者訴訟 「人災」と認めた判断は重い

3月19日社説

同様の民事訴訟は少なくとも全国の20地裁・支部で約30件を数え、原告総数は約1万2千人。(中略)東電や国の責任の所在が曖昧なまま時間が過ぎていくことに対する不満ややりきれなさの表れにもみえる。

18万部

## 最後に一言

読売と産経は、検察が東電経営陣らを不起訴としていたのに(その後検察審査会で強制起訴)民事で東電・国の責任を認めるというのを「ねじれ」と認識していて、そこから争いや分断が生じることを恐れる、という主張です。でも、なんでこんなことになっているかを考えると、福島民友(読売と関係が深いですが。)が言うように「東電や国の責任の所在が曖昧なまま時間が過ぎて」いるのが原因だと思われまます。これは政治のお仕事でしょう。